

正規の手続を行った学校のみが記入します。
実態として中高一貫教育を行っていても、正規の課程を経ていない学校は記入の必要はありません。

また、正規の手続を経ていても、本年4月1日以降に中高一貫教育を行う事となった学校は記入の必要がありません。

廃校となった場合でも、前年度に卒業者がいる場合、本調査票の作成が必要です。
廃校の場合であっても、本項目では「1 本校」又は「2 分校」を前年度の実態によって記入します。

卒業者が各区分に重複して該当する場合は、便宜、A→B→C→D→E の順に記入し、重複記入はしないでください。
・本年5月1日現在の状況を記入してください。したがって、進学、入学した者が5月1日までに退学した場合、就職した者が5月1日までに退職した場合は進学者、入学者、就職者として扱いません。
なお、卒業時から5月1日までの状況の変更について把握できない場合は、卒業時の状況を記入してください。

学科番号は大分類を記入します。
例えば、農業科であれば「201」(小分類)ではなく、「200」(大分類)を記入します。
異なる学科(小分類)であっても、大分類の学科番号が同一の場合は、まとめて記入します。小分類の学科ごとに分けて記入はしません。

学科番号は設置されている学科の男女別に応じて記入して下さい。(学級編制数又はコース数に応じて学科コードを記入するものではありません。)

「就職」とは、給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。
自家・自営業に就いた者は含めますが、家事手伝い、就職者には含めません。(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱います。)

(様式第24号)
統計法に基づく基幹統計調査
秘
政府統計

統計法に基づく國の統計調査です。調査票情報の保護に万全を期します。

卒業後の状況調査票(高等学校 全日制・定時制) (4-1)

令和 年度 学 校 基 本 調 査

一令和 年5月1日現在

都道府
県番号
4 8 5 6 7 2 3

高卒1

1 学校の所在地 〒100-0000 (市区町村)(町村)(番地) 東京都千代田区霞が関〇一〇一〇	2 (フリガナ) 学校名 文部科学分校	3 学校種別 1 高等学校	4 設置者別 1 国立 2 公立 3 私立	5 本校分校別 1 本校 2 分校	6 中高一貫教育の実施形態 [中高一貫教育を行なう学校のみ] 1 併設型 2 連携型	7 学科別 [該当する項目の番号を記入する。] 普通 農業 工業 商業 水産 家庭 看護 情報 福祉 その他(総合学科)	8 課程別 [該当する学科の課程別を○で囲み、下記の該当番号を「9」及び「12」~「14」の「課程別」欄に記入する。] 1 全日制 2 定時制
所在地の市町村番号 ※ 6 0 1 0 2 3 9	1	1	1	1	1	1	1

状況別卒業者数 (令和年3月の本科卒業者。専攻科、別科及び通信課程の修了者は除く)										
学科名	学科番号	課程別	男	A 大学等進学者			D 進学者(左記A,B,C,Dを除く。)	E 就職者等(左記A,B,C,Dを除く。)		
				大学(学部)	短大(学部)	大(学部)		F	G	計
科	科	科	科	科	科	科	科	自営業主等	不詳・死亡の者	卒業者数
普 通	7 0 1 0	1 0 0	男 3 7	4		1 1 0	a 1	b	2	5 5
	7 0 2 0	1 0 0	女 3 5	6		9 5	f	g		5 5
科	7 0 3 0	2 0 0	男 6			3		5	2	1 6
	7 0 4 0	2 0 0	女 1 5	3					1	1 9
科	7 0 5 0	9 0 0	男 4 2			1 0 6		2	3	6 3
	7 0 6 0	9 0 0	女 4 4	5		3 5 1		4	1	9 0
科	7 0 7 0		男							c 1
	7 0 8 0		女							d
科	7 0 9 0		男							e
	7 1 0 0		女							4 7
科	7 1 1 0		男							3 9
	7 1 2 0		女							6
計	7 2 1 0	9 9 9 9	男 8 5	0 4 0 0 1 1 3 1 6 0 0	0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1 7 0 0 5 0 1 3 4 1 0 0	1 7 0 0 5 0 1 3 4 1 0 0	1 7 0 0 5 0 1 3 4 1 0 0	1 7 0 0 5 0 1 3 4 1 0 0	9 5 0
	7 2 2 0	9 9 9 9	女 9 4	1 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	4 4 6 0 0 0 0 0 0 0 0 0	4 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0	4 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0	4 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0	9 8 1 5
	7 2 3 0	9 9 9 9	計 1 7 9	1 4 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0	2 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1 5 1 2 2 0 0 0 0 0 0 0	1 5 1 2 2 0 0 0 0 0 0 0	1 5 1 2 2 0 0 0 0 0 0 0	1 5 1 2 2 0 0 0 0 0 0 0	1 9 3 1 5
						0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1 6 0 2 0

1 本校と分校(正規の手続を完了したもの。)ごとに調査票を作成する。分校の調査票は、本校で取りまとめ、校長から提出する。

2 数字は、□の中に一字ずつ、右側につめて記入する。

3 「12」欄の「県内」の男女ごとの数は、「14」欄の当該学校の所在県の男女ごとの数にそれぞれ一致する。

4 符号のa~jは、(4-2)票の「12」欄、(4-3)票の「13」欄、(4-4)票の「14」欄の同符号と必ず一致する。2行目以下も同様である。

5 上記「7」欄で○で囲んだ学科又は記入した学科名が「9」及び「12」~「14」の「学科名」欄に正しく記されているか再確認する。

「9 状況別卒業者数」のうち、「自営業主等」及び「無期雇労働者」、「(再掲)」の「左記A, B, C, D」のうち就職している者及び「左記E 有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の者」について、「卒業後の状況調査票(高等学校 全日制・定時制) (4-2) ~ (4-4)」に産業別・職業別・都道府県別に就職状況を記入します。

左記A, B, C 及びDに該当する者で、就職している者は必ず該当欄に記入してください。

前年3月以前の本科卒業のうち本年度大学(学部)短期大学(本科)へ入学を志願した者の実数を、前年3月卒業者(いわゆる1浪)と前々年3月以前卒業者(いわゆる2浪以上)の別に記入します。
なお、入学志願者の記入の方法については、「10」の項目の説明を参照してください。